

36:1 これはエサウ、すなわちエドムの歴史である。
36:2 エサウはカナンの中から妻を迎えた。すなわち、ヒッタイト人エロンの娘アダと、ヒビ人ツィブオンの娘アナの娘オホリバマ、
36:3 それにイシュマエルの娘でネバヨテの妹バセマテである。
36:4 アダはエサウにエリファズを産み、バセマテはレウエルを産み、
36:5 オホリバマはエウシュ、ヤラム、コラを産んだ。これらはカナンの地で生まれたエサウの子である。
36:6 エサウは、その妻たち、息子と娘たち、その家のすべての者、その群れとすべての家畜、カナンの地で得た全財産を携え、弟ヤコブから離れて別の地へ行った。
36:7 一緒に住むには所有する物が多すぎて、彼らの群れのために寄留していた地は、彼らを支えることができなかったのである。
36:8 それでエサウはセイルの山地に住んだ。エサウとは、エドムのことである。
36:9 これは、セイルの山地にいたエドム人の先祖エサウの系図である。
36:10 エサウの子の名は次のとおり。エサウの妻アダの子エリファズ、エサウの妻バセマテの子レウエル。
36:11 エリファズの子はteman、オマル、ツェフオ、ガタム、ケナズである。
36:12 ティムナはエサウの子エリファズの側女で、エリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの子である。
36:13 レウエルの子はナハテ、ゼラフ、シャンマ、ミザで、これらはエサウの妻バセマテ

の子であった。

36:14 ツィブオンの娘アナの娘である、エサウの妻オホリバマの子は次のとおり。オホリバマはエサウに、エウシュとヤラムとコラを産んだ。

36:15 エサウの子で首長は次のとおり。エサウの長子エリファズの子では、首長teman、首長オマル、首長ツェフオ、首長ケナズ、

36:16 首長コラ、首長ガタム、首長アマレクである。これらはエドムの地にいるエリファズから出た首長で、アダの子である。

36:17 エサウの子レウエルの子では、次のとおり。首長ナハテ、首長ゼラフ、首長シャンマ、首長ミザ。これらはエドムの地にいるレウエルから出た首長で、エサウの妻バセマテの子である。

36:18 エサウの妻オホリバマの子では、次のとおり。首長エウシュ、首長ヤラム、首長コラである。これらは、エサウの妻で、アナの娘であるオホリバマから出た首長である。

36:19 これらはエサウ、すなわちエドムの子で、彼らの首長である。

36:20 この地の住民フリ人セイルの子は次のとおり。ロタン、ショバル、ツィブオン、アナ、

36:21 ディション、エツェル、ディシャンで、これらはエドムの地にいるセイルの子フリ人の首長である。

36:22 ロタンの子はホリ、ヘナム。ロタンの妹はティムナであった。

36:23 ショバルの子は次のとおり。アルワン、マナハテ、エバル、シェフオ、オナム。

36:24 ツィブオンの子は次のとおり。アヤ、

アナ。これは、父ツィブオンのろばを飼っていたとき、荒野で温泉を見つけたアナである。

36:25 アナの子は次のとおり。ディションと、アナの娘オホリバマ。

36:26 ディションの子は次のとおり。ヘムダン、エシュバン、イテラン、ケラン。

36:27 エツェルの子は次のとおり。ビルハン、ザアワン、アカン。

36:28 ディシャンの子は次のとおり。ウツ、アラン。

36:29 フリ人の首長は次のとおり。首長ロタン、首長ショバル、首長ツィブオン、首長アナ、

36:30 首長ディション、首長エツェル、首長ディシャン。これらは、セイルの地での首長ごとに挙げた、フリ人の首長である。

エドムとは「赤」を意味することばで、赤毛が濃かったエサウの別名です。エサウは信仰の面で無感覚であったので、神様からの祝福をいいかげんに扱ったり、また異教のカナン人から妻をめとるなどしました。その妻が母のリベカの悩みであったとも聖書は記しています。

それだけでなくエドムの子孫は、後にイスラエルに敵対したエドム人、またアマレク人（12節）となるのです。エドム人はエジプトから逃れてきたイスラエルを妨害し、ダビデ王、ソロモン王の時代にも敵対し、捕囚時代にはユダに侵略してきたのです。信仰の家庭に生まれても、神の御心に生きなければ、次第に神に反抗する流れを作ってしまうことにもなりかねません。御心に聞き、従いましょう。

①神のみこころは？ ②どんな思いになりましたか？③生き方にどう適用しますか？④この世にあって何を実践しますか？